第 73 回伊達市災害対策本部会議

平成 23 年 6 月 6 日（月）
10 時 00 分～
保原庁舎 2 階応接室

1　放射線関係

（1）坂ノ上・八木平地区の一次的避難関係について
・個別相談結果
・避難支援等

（2）6/5 開催　放射線の健康影響等に関する地区説明会

（3）校庭・園庭の表土除去等について

2　避難者（所）関係

・避難者受入・運営状況（健康福祉部）

3　その他（別紙参照）

・環境放射線測定結果
・第 145～14　回福島県災害対策本部会議の概要
・放射線測定器配置計画について
・災害対策号（第 12 号）について

次回

第 73 回本部会議の内容について（概要）

1　実施日時等

平成 23 年 6 月 6 日（月）　10：00～11：00

2　内容

(1) 6/3 発表　年間積算量推計値について

市民生活部長が資料により説明した。

県内で新たに 4 地点 20 ミリシーベルトを超える地点があった。霊山町上小国地区について 6/3 発表、5/25 時点で来年 3/11 までの年間累積積算推計が 20.8 ミリシーベルト　霊山町石田については、20.1 ミリシーベルト。石田については、子供の村の下のドライブインあたりではないか。従来の宝司沢地点と同じく考えてもらいたい。

上小国地区については、5/16 発表では、16.2 ミリシーベルトであり、使用された推定値は 2.7 マイクロシーベルト、今回は 3.6 マイクロシーベルトの数値を使用したので、20 ミリシーベルトを超えた。あまりにも差があるので、文部科学省にデータの内容を確認した。一部誤りもあったが、最終的には今回の数値で決着した。県の現地災害対策本部でも数値には疑義があるということで、本庁に問い合わせした。6/4・5 に現地にて詳細調査をおこなった。後日推計値の連絡がくると思われる。今後の推移をみなければわからない状況にあるが、一度報道されると数字が一人歩きするので、対応に苦慮するが、今後のデータの推移を見ていかなければならないと思う。

(2)石田坂ノ上・八木平地区の一時的避難について

霊山総合支所長より

今朝の時点で、市営住宅希望　13 世帯　44 名　県外希望　1 世帯　2 名である。

6/4 の個別面談では、市営住宅への入居について説明した。当日になって 2 世帯ほど避難希望があった。

(3)学校等放射線モニタリング調査結果について

市民生活部長が資料により説明した。（6/2・6/3 実施分）

(4)校庭・園庭の表土除去等について

教育部長より

小国小学校の除去した表土の埋め戻しについて

遮蔽シートを日曜日敷いて、今日表土を埋め戻しする

今日から 5 日間の予定で各地域の保護者に対して、現在の子どもの放射能対策について説明会を行っていく。

（市長より）

学校関係は一定の計画ができたので、それにしたがって準備出来次第逐次進めていく。学校の表土剥ぎを伊達市全体の除染作業のひとつと考えれば、除染のやり方についてしかるべき専門家の意見を聞きながら検討することで進めている。やり方についてもっといい方法の可能性もある。取組について、新しいやり方も提案されているので、間に合えばそこで取り入れていくことがいいのではないか。また、保護者にも放射線量の低減の努力を理解してもらう。せっかく下げていっても、子どもたちが従来と生活が変わらないのでは効果がない。子どもたちの健康被害も心配

ではあるが、一方で心身の健全な育成の観点から外で遊ぶのは意味がある。線量が高く外に出られない幼稚園で、室内に砂を運び込んだら、子どもたちが喜んだ例もあった。計画的に逐次進めてもらいたい。新たな方法とかいろいろ試験しながら取り組んでいきたい。

(5)6/5 開催　石田地区「放射線に関する勉強会」について

市民生活部長が資料により説明した。

子どもの村児童館で午後 2 時から開催。約 80 名の市民が出席。

はじめに放射線の健康影響ということで、放射線医学総合研究所の米原先生より 1 時間講演をいただいた。その後原子力災害現地対策本部の佐藤室長より、計画的避難区域の設定について 30 分にわたり説明いただいた。

6/12 に霊山中央公民館で霊山地域を対象に同様の説明会を開催予定。

今回の説明会と同様の資料で説明予定だが、上小国地域において 20 ミリシーベルトを超えるプレス発表があったので、その辺も若干検討しなければならない。

（市長より）

上小国地域について、計画的避難地域に準ずるような地域になっている状況で、どうするのか?ということについて関心がある。それについてどうするのかを説明しなければならない。基本的な考え方は必要があれば宝司沢のように対応するということだが、常識的に考えて、放射線量がだんだん減っているのならわかるが、増えていくというのには理解に苦しむ。推移をよく見ていきたい。増えるとすれば何らかの原因があるはず。今まで聞いているなかでは、新たに放射能が降ってくるか、今までの測定が間違っているか。のどちらかしか考えられない。来年の 3/11 までの線量が 20 ミリを超えるといっている。20 を超えても直ちに健康に影響があるとは考えられない。人によって個人差があるし、子どもについてはどうなのか？は議論のあるところ。宝司沢の例を見ても避難世帯は子どものいる若い世帯が中心。そうした世帯の人たちにはある程度考えていかなければならない。市で対応するとなると、当然市の中でそれなりの準備が必要であろうから十分検討しなければいけない。12 日の説明会ではこの件を説明しなければならない。また、今回の放射線の説明でどうしてくれるんだ?ということに対しては、除染することだと思う。除染活動については学校中心に始まったが、次には生活頻度の高いところ、すなわち自宅周辺の除染活動をどのようにしていくかについては、いろいろお願いしている田中先生が飯舘村でいろいろな取り組み、住居の除染についてどうすべきか研究されているので、それを具体的な形で実施する。このことについては、それぞれ皆さんがやってくださいという単純な話ではなくて、最終的な費用はどうするかになるので、実際にやってもらうのはそこに住んでいる人にやってもらわないことには、プライバシーの問題もあるし、具体的に家のまわりの細かいところもあるので住んでいる人がやるのがいいのではないか。そのためには市が除染のスペック（仕様書）をつくって、市がやるのだけれども、実際は住んでいる人にやってもらう。その費用は市が発注して市の費用でやる。その費用は改めて東電に対して請求する。一件一件東電に請求していくのは難しいので、市が発注して市がその費用を負担して、市が東電に請求していく。このへんのことを検討してもらいたい。要するにそれぞれの住んでいる人がやらないと、なかなか実効があがらないのではないか。いずれにしても費用負担については当面市が負担していくようにしないと進まない。そうするとどういうお宅をやるのか、何シーベルトならやるのか、やらないのか、となると難しい判断になると思うけれども、基本的にはできるだけ線量を下げていく。除染のチームを作って、個々の議論ではなくて、専門的にプロジェクト的な人がいて、一定の方針を出して欲しい。早く方

針をまとめて、宝司沢をはじめ上小国地域においてももし 20 ミリシーベルトを超えたら、計画的避難区域に準じた支援をしていくだけでなく、除染活動もやっていく。昨日の知事と 13 市長の懇談会でもその話をしてきた。除染活動については、今後取り組むべき非常に大きな課題である。それをやらない限り避難した人がいつ戻れるか保障はない。プロジェクト的なもので検討して欲しい。

(6)避難者（所）関係

・避難者受入・運営状況（健康福祉部）

健康福祉部長が資料により説明した。

前回の 6/3 からから 4 名減となり、6/6 現在 78 名である。

内訳は、梁川体育館にいた南相馬市の方４名が先週末に自宅に戻った。

(7) 災害対策号（第 13 号）について

広報広聴係長が資料により説明した。

（市長より）

小国地区についても触れないとまずいのではないか。測定値も大事だが、基本的な考え方も出さないといけないのではないか。

(副市長より)

3 ページに掲載されている災害ゴミとは、ガレキも含めてのことなのか。

（環境防災課長）

ここでいう災害ゴミとは、瓦礫ゴミということで取り扱っている。

（副市長より）

下段に、6 月～8 月までは、総合支所に連絡の上衛生処理組合に搬入してください。となっているが、連絡すれば、個人で瓦礫も持っていっていいという意味か。

（環境防災課長）

総合支所を経由して、災害廃棄物であることを確認して衛生処理組合に搬入していく。

産業廃棄物の持ち込みをチェックするということで、ワンクッションおいた形で取り扱っていきたい。

（副市長より）

今、仮置き場においてある瓦礫はいつ持っていくのか。

（環境防災課長）

国の指針が出たので、作業指示が出次第、指示に従って搬入したい。

（副市長より）

仮置き場の災害ゴミについては、国の指針待ちのため移動禁止である。一方で個人のものは持っていっていいという意味か。

（環境防災課長）

衛生処理組合も基本的には仮置き場になっており、最終処分場ではない。

(8) その他

・環境放射線測定結果

市民生活部長が資料により説明した。

・第 145～147 回福島県災害対策本部会議の概要

市民生活部長が資料により説明した。

（教育長より）

今朝、保原小児童の送迎の保護者が市役所前に設置した計測器を見て安心して帰った。

（県　石川）

6/7 から、伊達市の計測結果をテレビのテロップに載せることになった。時間は、7:00～19:00 までとなる。ただ、データをテレビ局に提供して、いつ流すのかはテレビ局の判断になるので、出した時間の後に出る可能性があるので、ご了承願いたい。

（市民生活部長）

県災害対策本部から金曜日に計測器 15 台届いた。

ポケット型の計測器で線量のほか、積算線量もできるようだ。あくまでも参考値である。

霊山地域を中心に貸出をして、町内会等で測ってもらうようにする。

《次回本部会議》

平成 23 年 6 月 9 日（木）11：00　本庁舎 2 階　応接室において